

令和 5 年度 三好市立学 校 評 価 報 告 書

学校名(池田小学校)

作成日 令和6年3月5日

校長名(武井 和夫)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.7	・指導要領に基づいた教育課程により, 教育改革を進めながら, 学校経営及び学校運営を推進することができた。	・学校運営協議会として, 地域とともにある学校づくりの方針を理解し, 学校運営に関して協力を惜しまないので, 共に取り組んでいきたいとの意見をいただいた。	・学校経営や運営に関して, 更なる広報に努めていきたい。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.8	・アフターコロナでの教育計画の見直し等を行い, 池小の強みを生かした取組ができた。 ・県生活総合研究大会の実施に伴い, 教育目標とも合わせて, 学校教育目標に挙げる児童を育成することができた。	・教育課程が教育計画に基づき, 概ね予定どおり実施されていて良かった。	・令和の日本型教育に基づき, 持続可能な教育計画を立案し, ビジョンを明確にした教育目標を設定し, 改革を進めていきたい。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.7	・参観日や運動会, 表現会をコロナ禍による制限を緩和して実施した。行事の運営方法については, 更なる改善を行う必要がある。	・教育活動が制限される中でも, 学校の取組や子供たちの活動が発信され, 特色ある教育活動が実践されていた。 ・持続可能な教育活動に対して, 保護者の理解や協力も大きく, 定着してきた。	・アフターコロナも定着し, 今後, 行事の開催方法に関しても, 更なる検討を重ね, 業務改善と合わせ効果的な形で実施していく。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.3	・生活・総合の時間において, 地域や各種団体との連携を築き, たくさんの地域の「ひと・もの・こと」の活用を図ることができた。 ・学校運営協議会や地域のボランティアとの連携によって, 環境整備や学習指導への協力を得ることができた。	・人的交流も増え, 地域の方とのふれあいにより, お互いにやりがいを感じられる取り組みになっていた。 ・奉仕作業等に, 地域や保護者が協力的であった。	・地域との連携・交流活動は, 学校運営協議会のコーディネーターを窓口として, 実施していきたい。また, 地域団体との協働活動もwin-winの関係を築いていきたい。
⑤ その他, 上記以外に関する評価(指定研究の取組)	4.0	・県生活総合研究大会での取組が高く評価され, マスコミ等で取り上げられる機会が多かった。また, 探究的な学習により, 児童の主体的・対話的で深い学びを実現し, 資質・能力を向上させた。	・県生活総合研究大会での取組は, 児童たちの主体的な学びが見られ, 楽しく取り組んでいる様子が見られた。	・人権教育や教育DXの推進を重点施策として, 授業研究や研修に取り組む。また, 生活・総合に関しても引き続き取り組み, 地域との連携を強化する。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %
3=達成度が 70~ 90 %
2=達成度が 50~ 70 %
1=達成度が 50% 未満